

2024年度一般社団法人日本民俗建築学会第29回シンポジウム

「住まう」空間を求めて —暮らしの場の確保と変容を探究する—



連家船漁民の住まいとしての船と集合住宅（中国福建省龍海市、2008年、藤川美代子撮影）

主催：一般社団法人日本民俗建築学会

後援：南山大学

共催：南山大学人類学研究所

「住まう」空間を求めて —暮らしの場の確保と変容を探究する—

日時：2024年10月26日（土）13時30分～16時30分

会場：南山大学R棟1階フラッテンホール（名古屋市昭和区山里町18）

プログラム・目次

13時30分 開会

会長挨拶：角 幸博（一般社団法人日本民俗建築学会・会長）

シンポジウムの趣旨：谷沢 明（本学会評議員、愛知淑徳大学名誉教授）…………… 1

総合司会：林 哲志（本学会評議員、愛知県立成章高等学校教諭）

パネリスト報告

・藤川美代子「水上と陸上に生きる術—中国福建の河と海に生きる連家船漁民の生活史—」…………… 3
（本学会会員、南山大学人文学部人類文化学科准教授／人類学研究所）

・福本 拓「在日朝鮮人集住地区の暮らしと住まい—エスニック社会と資本の役割に着目して—」…………… 9
（南山大学人文学部日本文化学科教授）

・池田孝博「暮らしを築く場としての小屋—新潟県の新潟市を事例に—」…………… 11
（柏崎市立博物館学芸員）

パネルディスカッション：藤川美代子、福本 拓、池田孝博、林 哲志(司会)

16時30分 閉会

2024年度一般社団法人日本民俗建築学会第29回シンポジウム

「住まう」空間を求めて
—暮らしの場の確保と変容を探究する—

発行：2024年10月26日

実行委員：藤川美代子（委員長）・谷沢明・林哲志・佐藤弘隆

一般社団法人日本民俗建築学会

〒162-0834 東京都新宿区北町18
